

ほかほかタイム

第3回目の「ほかほかタイム」は、千本木自治会長の吉原様をお招きして、お話を伺いました。



今日は、「私たちは、なぜ人として生まれてきたのか。人として生まれてきた役割は何か。」ということについて、みんなで考えてみたいと思います。もちろん、お父さんとお母さんから生まれたからという答えが多いですね。でも、もう少し深く考えてみましょう。人間は他の生き物とは違い、多くの隠れた能力をもっています。この能力は、勉強や練習、経験によって、実力として身に付きます。そして、蓄えたその実力を、人のため、地域のために使うことが、「人として生まれてきた役割」なのだと思います。

それでは、その「実力」とはどういうものなのでしょうか。それは3つあります。1つ目は、「心を育てる」ことです。物事を正しく判断し実行する、強い気力です。2つ目は、「知識・技術を育てる」ことです。勉強や経験によって、正しい知識力や技術力をつけることです。3つ目は、「体を育てる」ことです。病気や自然環境に負けない強い体力をつけることです。この「3つの実力」は、皆さんがこれから社会人として地域活動や社会生活をするうえで、ぜひとも必要となるパワーです。

「私たちはなぜ人として生まれたか」ということについて、仏教の教えにおもしろいお話があります。「魂は転生輪廻する」ということです。(スライドを使って説明) 私たちは人として生まれてきたとき、仏界から降誕した魂が人間の体に宿ります。生きている間に善い行いをすると(積善施徳)、魂が磨かれ、やがて人生を閉じたとき、磨かれた魂が体を離れ、降誕した時以上の次元に輝いて納まります。この繰り返しは魂の転生輪廻です。私たちがなぜ人間として生まれてきたかは、生涯を通じての積善施徳なのです。

難しい話になってしまいましたが、「なぜ私たちが人として生まれてきたのか」「どう生きるのか」は、自分の実力をより高め、社会のため、人のためになる善いことを行う役割をもって生きるということなのです。

最後に、私が教えている、剣道の子どもたちに言っている言葉を紹介します。人生の中では、「楽しいこと、嬉しいこと」がたくさんありますが、それと相反して「苦しいこと、悲しいこと」もたくさんあります。この「苦しいこと、悲しいこと」を一つひとつ乗り越えることにより、人は強く、大きくなれるのです。「苦しいこと、悲しいこと」に対して、決して逃げることなくチャレンジしましょう。涙は心の汗、流した分まで人は強くなれるのです。

地域のために様々な活動をされている吉原様の心のこもった一つ一つの力強い言葉に、子どもたちは、じっくりと考えながら、耳を傾けていました。

子どもたちの感想は、裏面に載せてありますので、ご覧ください。

ほかほかタイム
12日(水) 2:05~
〒: ボーイスカウト隊長 星野 典雄様
東入口からお入りくださ リッパを御持参下さい。

キ リ ト リ

保護者の皆様から、御意見・御感想がありましたら、お寄せください。

担当: 大森

次号の道徳だよりに、匿名で御意見・御感想を掲載させていただきたいと思いますので、御了承ください。